

ニルス・ヴァイトマン先生 講演会

公益財団法人日独文化研究所の招待により、テュービンゲン大学・学術フォーラム所長のニルス・ヴァイトマン先生が来日されます。この機会に、立命館大学でも、間文化現象学研究センターとの共催によりヴァイトマン先生の講演会を開催いたします。今回は間文化性の哲学を「根本諸経験」という観点から考察していただきます。興味・関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

日時

2018年 2月28日 (水)
16:30~18:30

場所

立命館大学 衣笠キャンパス末川記念会館第三会議室

演題

根本諸経験の哲学としての
間文化哲学

(Interkulturelle Philosophie als eine Philosophie der Grunderfahrungen)

講演者

ニルス・ヴァイトマン先生

〈ニルス・ヴァイトマン先生 (Dr. Niels Weidtmann) 略歴〉

ドイツのヴェルツブルク大学で学位取得。専門は、間文化哲学、現象学的哲学、科学哲学。現在、テュービンゲン大学学術フォーラム所長。

論文（ドイツ語）に「ポストコロニアル的な自己同一性の模索——内文化的な危機と間文化的な対話」、「より大きな真理へ向かう諸文化の共通の道——Kwasi Wiredu の思索への入門」など。

※講演はドイツ語で行われますが、通訳がつく予定です。

※ワークショップ後、講演者を囲む懇親会を予定しております。

※事前のご連絡は不要で、当日、どなたでも参加できます。

問合せ先：立命館大学 人文科学研究所

TEL:075-465-8225 FAX:075-465-8245 E-Mail jinbun@st.ritsumeai.ac.jp